2027年度版 小学校教員資格認定試験 過去問題集　正誤表

弊社の出版物に以下の誤りがありました。謹んでお詫びするとともに、下記のように訂正いたします。

2026年11月6日
協同出版

◆正誤表に掲載されていない正誤に関する疑問点がございましたら，下記項目をご記入の上，電子メール，FAX，または郵送にてお送りいただくようお願いいたします。
①　書籍名，都道府県(学校)名，年度
教員採用試験シリーズの場合は過去問，参考書等もご記入ください。
（例：東京都教員採用試験過去問シリーズ　小学校教諭　20〇〇年度版）
②　ページ数、問題番号
書籍に記載されているページ数、問題番号をご記入ください。
③　正誤についての問い合わせ内容
内容は具体的にご記入ください。（例：問題文では“ア～オの中から選べ”とあるが，選択肢はエまでしかない　など）

〔送付先〕
〇　電子メール：edit@kyodo-s.jp
〇　FAX：03-3233-1233　（協同出版株式会社　編集制作部　行）

章・年度	頁数	問題	箇所、行	誤	正
第2章 2026年度	53	国語 1	解説	他の選択肢は活動として可能であるが，語彙の体系的理解という観点が十分でない。	アの「役割によるまとまり」は第3学年及び第4学年，イの「身近なことを表す語句」は第1学年及び第2学年，ウの「様子や行動，気持ちや性格を表す語句」は第3学年及び第4学年の指導内容であり，アは第2学年，イは第3学年，ウは第5学年の指導内容として不適切である。
第2章 2026年度	54	国語 2	解説	アは段落相互の関係や文章構造全体の把握は主として高学年の内容であり，該当学年の発達段階には適していない。	アの段落相互の関係や文章構造全体の把握は第3学年及び第4学年の指導内容であり，第2学年の指導内容として不適切である。
第2章 2026年度	55	国語 3	解説	イは活動のねらいと方法の対応が不十分であり，資質・能力の育成につながりにくい点で不適切である。	イの「自分が聞こうとする意図に応じて」は第5学年及び第6学年の指導内容であり，第4学年の指導内容として不適切である。
第2章 2026年度	56	国語 4	解説	イは学習のねらいとの対応が十分でなく，主張文指導として適切でない。	イの「内容のまとまりで段落をつくるよう」は第3学年及び第4学年の指導内容であり，第5学年の指導内容として適切でない。
第2章 2026年度	60	国語 8	解説	本文は『枕草子』の一節であり，内容から「うつくしきもの(かわいらしいもの)」の段であると判断できる。幼い子どもの様子などを愛らしいものとして挙げる構成が特徴であり，最も適切なのはイである。	本文は『枕草子』の一節であり，内容から「はしたなきもの(気まずいもの)」の段であると判断できる。人の噂話などをして悪く言ったことを幼い子どもが聞き覚えていて、その人の前でしゃべってしまったときなどを気まずいものの例としてあげており，最も適切なのはイである。

章・年度	頁数	問題	箇所、行	誤	正
第2章 2026年度	102	音楽 6	解説	ソプラノリコーダーの運指ではF♯(ファ♯)に相当する。 楽譜上でファ♯の音を示している選択肢がエである。	ソプラノリコーダーの運指ではC♯(ド♯)に相当する。楽譜上でド♯の音を示している選択肢がエである。
第2章 2026年度	129	体育 6	解答・解説	6　エ 解説　「体のバランスをとる運動」は，片足立ちや不安定な姿勢を保持するなど姿勢保持能力を高める活動を指す。エは寝転ぶ・転がるなどの動きであり，主に体ほぐしや移動運動に近い内容であるため，バランス運動の例としては不適切である。	6　ア 解説　「友達と背中合わせになりながら，片足で立ったり座ったりする」は，座る・立つなどの動きで構成される「体のバランスをとる運動」の例示である。「力試しの運動」は人を押す・引く，力比べをする動きや人を運ぶ・支える動きなどで構成される運動である。したがって適切でないものはアである。